



平成27年5月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年10月3日

上場取引所 東

上場会社名 小津産業株式会社

コード番号 7487 URL <http://www.ozu.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 中田 範三

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営企画室長

(氏名) 稲葉 敏和

TEL 03-3661-9400

四半期報告書提出予定日 平成26年10月15日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年5月期第1四半期の連結業績(平成26年6月1日～平成26年8月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年5月期第1四半期	9,883	△2.3	174	30.8	197	45.1	121	77.3
26年5月期第1四半期	10,120	11.3	133	48.8	135	57.3	68	153.8

(注) 包括利益 27年5月期第1四半期 121百万円 (—%) 26年5月期第1四半期 △18百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年5月期第1四半期	14.50	—
26年5月期第1四半期	8.18	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年5月期第1四半期	20,926	11,720	56.0
26年5月期	20,578	11,699	56.9

(参考) 自己資本 27年5月期第1四半期 11,720百万円 26年5月期 11,699百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年5月期	—	0.00	—	12.00	12.00
27年5月期	—	—	—	—	—
27年5月期(予想)	—	0.00	—	12.00	12.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年5月期の連結業績予想(平成26年6月1日～平成27年5月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	19,400	△1.9	280	△18.7	290	△19.0	170	△21.6	20.32
通期	38,600	△1.6	450	△12.6	460	△15.7	480	39.9	57.38

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

27年5月期1Q	8,435,225 株	26年5月期	8,435,225 株
27年5月期1Q	70,398 株	26年5月期	70,330 株
27年5月期1Q	8,364,827 株	26年5月期1Q	8,365,182 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページの「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8
(重要な後発事象)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府による経済政策や日本銀行による金融政策の効果により企業収益や雇用情勢の改善等が見られ、全体としては緩やかな回復基調で推移したものの、消費増税に伴う駆け込み需要に端を発した個人消費の落ち込みや更なる消費増税への懸念および原油輸入価格の高止まり等が見られ、依然として先行き不透明な状況にあります。海外におきましては、中東情勢の緊迫化や中国景気の底入れの動きなどがあるものの、欧州債務危機の鎮静化や米国経済の安定的な成長ペースに下支えられ、全体としては緩やかな回復となりました。

このような経営環境のもと、当社グループといたしましては、引き続き「海外戦略の強化」、「新事業・新商品の創出」、「コンバーター機能の強化・拡充」、「グループ各社の連携強化」、「人材育成」という中長期的な経営戦略に基づき営業活動を展開してまいりました。

これらの結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は98億83百万円（前年同期比2.3%減）、経常利益は1億97百万円（前年同期比45.1%増）、四半期純利益は1億21百万円（前年同期比77.3%増）となりました。

当第1四半期連結累計期間のセグメント別の状況は以下のとおりであります。

(不織布事業)

エレクトロニクス分野につきましては、パソコンやデジタルカメラ用途向けが低迷する中、スマートフォンやタブレット端末用途のデバイス産業向けが引き続き堅調に推移しており、電装化が進行している自動車関連のデバイス産業向けも好調に推移いたしました。

コスメティック分野につきましては、前連結会計年度に大きく伸長した中国市場におけるフェイスマスク用途が引き続き好調を維持することができました。

メディカル分野につきましては、出荷量の低迷に底打ち感があるものの、依然として安価な輸入品の流入が続いており、前年同期に比べ微減となりました。

小津（上海）貿易有限公司では、コスメティック分野向けの出荷が増加したものの、低価格帯のデジタルカメラ用途向け出荷数の低迷等の影響により、売上高、利益面ともに低調に推移いたしました。

ウェットティッシュ等の製造販売を営む株式会社ディプロでは、清掃関連商品等の受注が減少したことにより、売上高、利益面ともに微減となりました。

アグリ分野を担う日本プラントシーダー株式会社では、落花生、コーンなどの大粒子テープの加工および播種機等の販売は好調に推移いたしましたが、年初に発生した関東・甲信地域等における降雪被害による影響や消費増税に伴う駆け込み需要の反動減が長引き、売上高、利益面ともに低調に推移いたしました。

これらの結果、売上高は34億52百万円（前年同期比4.8%増）、セグメント利益は1億97百万円（前年同期比38.4%増）となりました。

(家庭紙・日用雑貨事業)

連結子会社のアズフィット株式会社が営む家庭紙・日用雑貨事業につきましては、消費増税に伴う駆け込み需要はあったものの、その反動による販売数量の減少も大きく、顧客である小売業界における経営統合や業務・資本提携の動きに伴う商流変更の影響等もあり、販売数量は伸び悩みました。また、依然として根強い消費者の低価格志向と廉価な海外品の流入により販売価格は軟調に推移し、売上高、利益面ともに前年同期を下回りました。

これらの結果、売上高は64億19百万円（前年同期比5.8%減）、セグメント損失は10百万円（前年同期は1百万円のセグメント利益）となりました。

(その他の事業)

その他の事業につきましては、売上高は10百万円（前年同期比25.8%増）、セグメント損失は1百万円（前年同期は0百万円のセグメント利益）となりました。

(注) 日本プラントシーダー株式会社およびアズフィット株式会社の決算期は2月末日のため、当第1四半期連結累計期間には各社の平成26年3月から平成26年5月の実績が、株式会社ディプロの決算期は3月末日のため、当第1四半期連結累計期間には同社の平成26年4月から平成26年6月の実績が反映されております。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

資産につきましては、前連結会計年度末に比べて3億47百万円増加し、209億26百万円となりました。主な要因は、「受取手形及び売掛金」の増加6億51百万円、「現金及び預金」の減少1億25百万円であります。

(負債)

負債につきましては、前連結会計年度末に比べて3億26百万円増加し、92億5百万円となりました。主な要因は、「支払手形及び買掛金」の増加3億46百万円、「未払法人税等」の減少1億9百万円であります。

(純資産)

純資産につきましては、前連結会計年度末に比べて20百万円増加し、117億20百万円となりました。主な要因は、「利益剰余金」の増加20百万円であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

第2四半期連結累計期間の連結業績予想に関しましては、平成26年7月15日公表の数値から変更はありません。また、通期の連結業績予想に関しましては、平成26年9月26日公表の数値から変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成26年5月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,604,486	3,478,712
受取手形及び売掛金	6,395,684	7,047,071
商品及び製品	1,795,825	1,785,961
原材料	403,155	388,237
繰延税金資産	105,980	79,651
その他	511,753	430,398
貸倒引当金	△12,335	△12,517
流動資産合計	12,804,549	13,197,516
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	5,578,630	5,578,526
減価償却累計額	△3,638,800	△3,667,510
建物及び構築物(純額)	1,939,830	1,911,015
機械装置及び運搬具	1,064,579	1,145,448
減価償却累計額	△947,600	△963,330
機械装置及び運搬具(純額)	116,979	182,118
土地	1,785,186	1,785,186
リース資産	87,581	87,581
減価償却累計額	△54,342	△57,557
リース資産(純額)	33,238	30,023
建設仮勘定	406,337	347,494
その他	333,019	340,119
減価償却累計額	△274,904	△280,813
その他(純額)	58,114	59,305
有形固定資産合計	4,339,686	4,315,144
無形固定資産		
のれん	22,055	11,027
その他	325,471	320,152
無形固定資産合計	347,527	331,180
投資その他の資産		
投資有価証券	2,505,753	2,511,724
長期貸付金	14,627	13,623
繰延税金資産	34,543	28,454
その他	558,723	547,243
貸倒引当金	△26,554	△18,696
投資その他の資産合計	3,087,094	3,082,350
固定資産合計	7,774,307	7,728,674
資産合計	20,578,857	20,926,191

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成26年5月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年8月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,268,443	4,615,346
短期借入金	870,000	890,000
1年内返済予定の長期借入金	50,000	50,000
リース債務	12,828	12,597
未払法人税等	150,920	41,479
賞与引当金	46,761	49,306
役員賞与引当金	1,100	—
厚生年金基金解散損失引当金	58,879	58,879
その他	730,990	805,472
流動負債合計	6,189,924	6,523,082
固定負債		
社債	1,000,000	1,000,000
長期借入金	900,000	900,000
リース債務	21,916	18,848
繰延税金負債	466,255	466,760
役員退職慰労引当金	152,523	155,730
退職給付に係る負債	92,148	89,961
その他	56,605	51,479
固定負債合計	2,689,450	2,682,780
負債合計	8,879,374	9,205,863
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,322,214	1,322,214
資本剰余金	1,374,967	1,374,967
利益剰余金	8,291,947	8,312,877
自己株式	△82,847	△82,940
株主資本合計	10,906,281	10,927,118
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	788,142	785,901
為替換算調整勘定	5,058	7,307
その他の包括利益累計額合計	793,200	793,208
純資産合計	11,699,482	11,720,327
負債純資産合計	20,578,857	20,926,191

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年6月1日 至平成25年8月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年6月1日 至平成26年8月31日)
売上高	10,120,616	9,883,131
売上原価	8,612,217	8,401,427
売上総利益	1,508,398	1,481,703
販売費及び一般管理費	1,374,702	1,306,852
営業利益	133,695	174,850
営業外収益		
受取利息	715	806
受取配当金	20,713	20,697
持分法による投資利益	—	395
その他	6,889	9,050
営業外収益合計	28,318	30,951
営業外費用		
支払利息	6,295	6,640
為替差損	14,356	—
持分法による投資損失	919	—
その他	4,640	2,092
営業外費用合計	26,211	8,732
経常利益	135,802	197,069
特別利益		
受取保険金	7,000	—
特別利益合計	7,000	—
特別損失		
固定資産除却損	—	542
特別損失合計	—	542
税金等調整前四半期純利益	142,802	196,526
法人税、住民税及び事業税	44,060	43,657
法人税等調整額	30,318	31,560
法人税等合計	74,379	75,218
少数株主損益調整前四半期純利益	68,423	121,308
少数株主利益	—	—
四半期純利益	68,423	121,308

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年6月1日 至平成25年8月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年6月1日 至平成26年8月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	68,423	121,308
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△92,246	△2,240
為替換算調整勘定	5,253	2,249
その他の包括利益合計	△86,992	8
四半期包括利益	△18,569	121,317
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△18,569	121,317
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自平成25年6月1日至平成25年8月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	不織布	家庭紙・ 日用雑貨	計				
売上高							
外部顧客への売上高	3,295,976	6,816,280	10,112,257	8,359	10,120,616	—	10,120,616
セグメント間の内部売上高又は振替高	124,667	2,350	127,018	33,538	160,556	△160,556	—
計	3,420,643	6,818,631	10,239,275	41,898	10,281,173	△160,556	10,120,616
セグメント利益	142,348	1,394	143,743	919	144,663	△10,967	133,695

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸事業であります。

2. セグメント利益の調整額10,967千円は、セグメント間取引消去額であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

連結子会社のアズフィット(株)において、従来、商品の仕入代金現金決済時に受取る仕入代金の割引等については、営業外収益の「仕入割引」として処理しておりましたが、当第1四半期連結会計期間より、仕入控除項目として「売上原価」に含めて処理する方法に変更いたしました。

この変更は、仕入代金の割引について適用される割引率と市場の実勢金利との乖離が長期化・拡大化しており、実質的に仕入値引に相当する金額の重要性が増してきていること、当第1四半期連結会計期間より「得意先別採算管理システム」を導入し、仕入代金の割引を含めたより精緻な採算管理を行っていることから、取引の実態に即したより適正な経営成績を表示するために行ったものであります。

なお、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報につきましては、遡及適用後の数値を用いて作成したものを記載しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成26年6月1日至平成26年8月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	不織布	家庭紙・ 日用雑貨	計				
売上高							
外部顧客への売上高	3,452,623	6,419,994	9,872,617	10,513	9,883,131	—	9,883,131
セグメント間の内部売上高又は振替高	36,464	1,645	38,110	33,537	71,647	△71,647	—
計	3,489,088	6,421,640	9,910,728	44,050	9,954,778	△71,647	9,883,131
セグメント利益又は損失(△)	197,058	△10,157	186,900	△1,021	185,878	△11,027	174,850

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸事業であります。

2. セグメント利益又は損失の調整額11,027千円は、セグメント間取引消去額であります。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

当社は、平成26年9月26日開催の取締役会において、当社の連結子会社であるアズフィット株が所有する固定資産の譲渡について承認・決議し、同社は、平成26年9月29日付で売買契約を締結いたしました。

1. 譲渡の理由

物流機能の最適化を図り、また、本社を東京日本橋に移転することによるグループの経営資源の集中及び効率化を図ることを目的としたものであります。

2. 譲渡する相手会社の名称

譲渡先につきましては、契約上の都合により公表を差し控えさせていただきます。なお、譲渡先は国内法人1社であり、譲渡先と当社グループとの間には、資本関係、人的関係、取引関係はありません。

3. 譲渡資産の種類、譲渡前の用途

譲渡資産の種類: 土地及び建物

譲渡前の用途: 連結子会社の本社兼物流拠点

4. 譲渡の時期

物件引渡日 平成27年2月27日(予定)

5. 譲渡価額

950百万円

6. 損益に与える影響額

当該固定資産の譲渡に伴い、平成27年5月期第4四半期連結会計期間において、231百万円(概算)の固定資産売却益を特別利益として計上する見通しであります。